

第2回 新潟市花育推進委員会 会議概要

日 時	平成22年2月10日(水) 午後2時～4時20分
会 場	新潟市園芸センター研修室
出席委員	伊藤委員, 今西委員, 楠田委員, 杉山委員, 関委員, 真木委員, 丸山委員, 森田委員, 四柳委員
欠席委員	加藤委員
傍聴者	なし
事務局	園芸センター(永田所長, 戸田副主査, 木村技師) 関係課 農村・都市交流施設整備課(渡辺主幹) 食と花の推進課(小竹主査) 学校支援課(永井指導主事) 公園水辺課(風間補佐) 環境対策課(清水技師) 保育課(三富指導保育士)

1 新潟市花育推進委員会公募委員について

◎資料1により, 委員の公募結果と公募委員を紹介。

2 平成21年度花育事業実績について

◎資料2, 3により, 平成21年度実績と新潟市花育推進計画の数値指標の現状値を事務局が説明。

○委員意見

<新潟市花育マスターについて>

- ・花育マスターとは別に「花育マスターの手前」のボランティア, アシスタントをお願いする制度も必要ではないか。

<緑化コンクールについて>

- ・写真を観賞するだけでなく, 受賞した庭については, 翌春オープンガーデンのツアーを組む企画もあればよいのでは。

<花育のホームページについて>

- ・一年間のスパンで花育の情報が得られる, 各事業の情報が一元化された専用のホームページは是非作ってほしい。

◎資料5により, 花育アンケートの結果報告。

3 平成 22 年度花育推進事業について

◎資料 4 の新潟市花育マスター制度と、資料 6 の平成 22 年度花育推進事業の主な取り組みを合わせて事務局が説明。

○委員意見

<新潟市花育マスター制度について>

- ・花育マスターとは別に、アシスタント的なボランティア制度があってもよいのではないか。
- ・利用者が学校の場合は先生、父兄等かなりの人数が参加することが想定され、指導するのが花育マスター一人では円滑に作業が進まない。
- ・アシスタント制度を作るのであれば、講習会を受講してから登録する等、人材育成も必要では。
- ・各区でも、花育マスターのような活動をしている人はいるので、その方たちも花育マスターに登録すればいいのでは。

<生産現場の花育活動について>

- ・平成 22 年度からでも、生産地域の花の見学など、産地をしってもらう体験会等を実施してほしい。

<新潟にゆかりのある花と緑について学ぶ講座について>

- ・歴史博物館のようなところで、「チューリップ今昔物語」のようにやれば集客もよいのでは。
- ・座学と実地をセットにする、他のイベントとタイアップする等工夫して開催すればよいのでは。

4 その他

◎資料 7 により「(仮称) 食育・花育センターにおける展示設計」について事務局が説明。

○委員意見

- ・「新潟の花文化」を理解してもらう内容が必要である。

※2 月末までに、意見のある場合は事務局まで連絡することとした。

◎各委員からの情報提供

- ・伊藤委員より「農園芸分野における障がい者就労セミナー」について説明。
- ・今西委員より「JFTD の花の白書」の提供をいただいた。